

県政の動き

10月11日(金)～12月10日(火)

10月11日(金)

2013がじまの新特産品コンクール

10月11日(金)～10月12日(土)

★平成25年度原子力総合防災訓練

10月16日(水)

★鹿児島県動物愛護センター開所

10月17日(木)～10月19日(土)

Oishi JAPAN 2013

10月30日(水)

鹿児島県戦没者追悼式

10月30日(水)～10月31日(木)

★第18回全国茶サミット鹿児島大会in志布志市

11月1日(金)

★平成25年度県民表彰式

11月4日(月)

★鹿児島七ツ島メガソーラー発電所竣工記念式典

11月6日(水)、12月13日(金)

★地方自治法施行60周年記念貨幣およびふるさと切手「地方自治法施行60周年記念シリーズ鹿児島県」贈呈

11月7日(木)～11月9日(土)

第4回全国小水力発電サミットin鹿児島

11月9日(土)

★奄美群島日本復帰60周年記念式典・祝賀会

11月10日(日)

平成25年度九州森林の日植樹祭

11月10日(日)

オレンジリボン児童虐待防止街頭キャンペーン

11月16日(土)

'13土木フェスタ in Kagoshima

11月17日(日)

第4回県民文化フェスタ総合フェスティバル

11月25日(月)

第5回かしまのまちづくり委員会

★は写真入りで紹介

10月11日(金)～10月12日(土)

平成25年度原子力総合防災訓練



福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた国の原子力災害対策指針などの防災対策の見直しにより、県、薩摩川内市および関係周辺市町で策定や修正を行った地域防災計画原子力災害対策編に基づき、国主催による原子力総合防災訓練が実施された。

訓練は、川内原子力発電所の周辺地域住民のほか、警察、消防、自衛隊など約1300の防災関係機関、約3400人が参加した。実際の災害場面に近づけ、その場での対応を訓練する実時間実動訓練として、国や関係機関とのテレビ会議（広域避難誘導や緊急被ばく医療措置などを行うとともに、避難施設などでは放射線や原子力防災などに関する講習会を実施した。



10月16日(水)

鹿児島県動物愛護センター開所



人と動物の共生する地域社会の実現を目指して、県が霧島市に整備を進めていた「鹿児島県動物愛護センター」が10月16日に開所した。

伊藤知事や前田霧島市長など約40人が出席した開所式典で、知事が「施設を拠点として、動物愛護の思想を一層普及させたい」と挨拶した。

動物愛護センターでは動物愛護教室やしつけ方教室を開催するほか、犬・猫の譲渡の推進を図るための譲渡会や動物とふれあうイベントも実施する。

子どもから高齢者まで幅広い層の方々が動物に関する知識や理解を深め、動物愛護思想の一層の普及定着を図る。



第18回全国茶サミット鹿児島大会in志布志市



全国の茶産地が連携し、茶文化の普及や消費拡大、生産振興を図ることを目的に、志布志市文化会館などにおいて、「第18回全国茶サミット鹿児島大会in志布志市」が開催された。

今大会は「緑茶と健康、そして実践」茶産地からの挑戦」をテーマに開催され、全国の茶産地82市町村の首長などが参加した市町村長会議では、緑茶による健康増進効果を実証する取り組みについて、意見交換が行われた。

また、記念大会や鹿児島お茶大使の桂竹丸さんと国生さゆりさんによる健康トーフシヨー、お茶の試飲・販売などの消費拡大イベントも催され、多くの来場者で賑わった。

平成25年度県民表彰式



前列左から、島津さん、太原さん、四元さん、伊藤知事、築地さん、秋葉さん

県では、県民の福祉に貢献し、特に顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民表彰」として表彰している。

本年度は5人の方々を表彰した。

《地方自治部門》

四元 泰盛 さん

〔元〕松元町長

松元町長として、5期16年4月の長きにわたり、町勢の発展と住民福祉の向上に努められるとともに、鹿児島地区合併協議会副会長として、新生鹿児島市の誕生に大きく寄与されるなど、本県地方自治の伸展に大きく貢献された。

《教育文化スポーツ部門》

築地 俊造 さん

〔日本民謡協会奄美連合委員会委員長、唄者〕

奄美島唄界における代表的な唄者として活躍されるとともに、日本民謡協会奄美連合委員会委員長として、奄美民謡大賞の審査委員長を務められるなど、本県芸術文化の発展に大きく貢献されている。

《保健福祉部門》

太原 春雄 さん

〔元〕社団法人鹿児島市医師会会長

鹿児島市医師会会長として、救急医療体制の推進などに尽力され、鹿児島市医師会病院や鹿児島市医師会休日夜間急病センターの開設など、地域医療の活動を通じて地域社会の発展に大きく貢献された。

《産業経済部門》

秋葉 重貴 さん

〔鹿児島相互信用金庫理事相談役〕

鹿児島相互信用金庫の理事長として、中小企業の金融支援や県内企業の貿易・海外進出支援、農商工連携推進など、中小企業育成と地域活性化に尽力され、本県産業経済の発展に大きく貢献された。

《くらし・環境部門》

島津 修久 さん

〔元〕鹿児島県公安委員会委員長

県公安委員会委員長として、県内における治安の維持・向上に努められるとともに、少年問題の根本的な改善に取り組みられるなど、県民が安心して暮らせる社会の実現に大きく貢献された。

鹿児島七ツ島メガソーラー発電所竣工記念式典



鹿児島市七ツ島に建設が進められてきた「鹿児島七ツ島メガソーラー発電所」の竣工記念式典が行われた。

この発電所は、約127万平方メートルの広大な敷地に、太陽光パネル約29万枚を設置し、発電能力は約7万キロワットで、一般家庭の約2万2000世帯分の年間消費電力量に相当する国内最大規模の太陽光発電所であり、11月1日から送電を開始している。また、敷地内には、一般の方々へ太陽光発電について学習できる展示見学施設「鹿児島七ツ島ソーラー科学館」も併設されている（見学するには事前予約が必要）。

今後、これらの施設が本県の掲げる「地球環境先進県」のシンボリックな存在となることが期待される。



11月6日(水)、12月13日(金)

地方自治法施行60周年記念貨幣およびふるさと切手 「地方自治法施行60周年記念シリーズ鹿児島県」贈呈



地方自治法施行60周年を記念して、鹿児島版の千円銀貨幣が「屋久島世界自然遺産登録20周年」をテーマに、「縄文杉」などをモチーフにデザインされて本年度発行された。

11月6日に、独立行政法人造幣局から伊藤知事への貨幣の贈呈のほか、デザインの説明やPRが行われた。

また、12月13日には日本郵便株式会社から記念貨幣の発行に合わせて発行される、ふるさと切手の贈呈が行われた。この切手は、1シートに80円切手5枚を配置した構成となっており、千円銀貨幣のデザインと県内の代表的な景勝地などがデザインされている。



11月9日(土)

奄美群島日本復帰60周年記念式典・祝賀会



平成25年は、奄美群島の日本復帰60周年に当たることから、県と関係12市町村は「奄美群島日本復帰60周年記念式典・祝賀会」を開催した。

式典には、太田昭宏国土交通大臣や牧原秀樹環境大臣政務官をはじめ、国会議員、秀樹環境大臣政務官をはじめ、国会議員、地元議会議員、地域住民など1300人が出席し、地元の児童・生徒による「日本復帰の歌」の独唱や未来に向けたメッセージの披露、日本復帰をテーマとしたミュージカル劇の上演などが行われた。

また、引き続き行われた祝賀会にも350人が出席し、奄美群島の人々の結束の強さや未来への飛躍に対する期待の強さを感じる一日となった。

